

# 令和5年5月8日(月)に新型コロナ の類型が2類→5類に変更になります

## 当院ITOKCにおける5.08に5類移行後の変更・緩和策 5.06版

**待合室①**: 社会の要請はZEROリスクを求めないし、濃厚接触者の出勤停止がなくなる緩和を受けて、感染隔離策の緩和の観点から、多段階の隔離とします。換気を優先し、パーティションやビニールシートも適宜減らします。(ただし感染状況により再設置します)

**予約枠 ②**: 発熱疾患が、全ての医療機関で対応すべき類型となるため、我々も過度に発熱外来に偏り過ぎない診療バランスに戻していく。(7割が乳がん検診や健診、上下内視鏡、手術、内科外来、3割が感染症(発熱・上気道・お腹)外来)に戻ることを目指す。

特に平日AMは乳がん検診・一般健診優先。ここ最近一般健診や乳がん検診が減ってしまった結果か、進行がんの発見が増えている。その反省も踏まえる。また発熱外来の枠数を15~20 → 5-8程度に減ります。!

**入院調整③**: 受け入れ病院の少なさからマッチングにハードル高くなる。決定後も移送の点も難航予想される。皆様”重くならないように“予防・治療しましょう”。高齢者、乳幼児、重症者が入院できずひっ迫の場合→診きれないため、ハイリスクであればあるほど、場合によっては最初から大きな入院できる病院受診を御案内する場合があります。

**診療内容と費用④**: 検査・処方料が有料化(保険診療の自己負担)となります! PCR検査2500円、抗原検査1500円。あまり強くは勧めにくくなります。“一人もコロナを見逃さない”というような精度高い検査が困難となり、スピード重視の流れるような診療も多くなるであろう。それでも抗原検査はよりウイルス濃度高い鼻咽頭から=精度の高い抗原検査が必要。

治療薬は9月まで勧めやすいので積極的に!

**薬局・薬の入手⑤**: 薬局が配達してくれなくなるタイミングで、感染患者さんは取りに行く→処方箋感染患者に渡すこととなります。

**医療者⑥**: 原則PPE→熱中症・うごき易さを重視して、原則として、普段の診療で必須な防御は基本マスクのみとする。個人判断で、ここぞと言う時のみPPE+N95。

熱中症・身体への負担軽減!



ITOKC